

令和 7 年度 県立常陸太田特別支援学校 自己評価表

No. 1

目指す学校像	◆安心して過ごせるあたたかく笑顔あふれる学校 ◆一人一人の学びを大切にする学校 ◆家庭や地域とともに歩む学校		
昨年度の○成果と●課題	重 点 項 目	重 点 目 標	達成状況
○マニュアルを踏まえた各種避難訓練等を実施し、体制の確認をするとともに、災害時の引き渡しの際の課題を整理し改善策の検討を行った。 ●環境整備の徹底と危機管理意識の更なる向上 ○外部専門家や自立活動教諭による研修会の実施並びに計画訪問を活用した授業改善に取り組み、子供が主体的に学ぶための工夫の視点について整理した。 ●校内研究の充実による授業づくり及び授業改善の推進 ○小・中学部における体験的な学習の目標を各教科等の目標を踏まえて再確認し、内容の見直し改善を図った。 ●OTA キャリア教育プランの目標や系統性の再確認と地域と連携した教育活動の更なる充実 ○体験的な活動をととした学校間交流を行うとともに、地域の学校等の要請に応じた支援の充実に努めた。 ●本校の教育活動の積極的な発信による特別支援教育に関する理解促進 ○classroom を活用して情報共有を行うなどして会議時間の短縮を図り、授業準備の時間の確保に努めた。 ●校内研修の更なる充実と業務の効率化の推進	安全・安心な教育環境づくり	①学校事故等の未然防止と危機管理体制の強化（整理整頓、安全点検の徹底、ヒヤリハットの共有、各種マニュアルの改善等） ②家庭や地域と連携した安全管理 ③健康教育と道徳教育の充実 ④校内の相談・支援体制の強化（早期発見・早期対応、関係機関との連携）	
	一人一人の学びの充実	⑤考える力を育み「わかった、できた、もっとやってみたい」を引き出す授業づくり ⑥単元計画を踏まえた授業デザイン ⑦ICT を効果的に活用した学習指導及び支援の充実 ⑧教科の学びを支える自立活動の指導の充実	
	キャリア教育の推進	⑨家庭や地域と連携した小学部からの系統的なキャリア教育の推進（OTA キャリア教育プラン） ⑩地域資源を活用した教育活動の充実（OTA ぶどうプロジェクト、社会人講師の活用） ⑪あいさつの習慣化 ⑫コミュニティ・スクールを生かした開かれた学校づくりの推進	
	地域の特別支援教育の推進	⑬心のバリアフリーを目指す交流及び共同学習の内容の充実 ⑭多様なニーズに応じた助言・援助の強化 ⑮関係機関や専門家と連携を図った支援の充実 ⑯積極的な情報発信（保護者、地域、学校等）	
	高い専門性と働きやすさ	⑰特別支援学校教員としての専門性を高める研修の充実と学びの共有（自立活動、授業改善等） ⑱チームで支える教育体制の整備（ティーム・ティーチング、情報共有） ⑲風通しの良い職場づくり（報告・連絡・相談の徹底） ⑳ICT 等を活用した業務改善とタイムマネジメントの推進	

評価項目	具体的目標	具 体 的 方 策	重点目標との関連	評価	成果(○)、課題(●)及び次年度(学期)への改善策(◇)
学校経営 管理 教育計画	教職員の危機管理意識の向上と安全・安心な教育環境作りの徹底	・セルフチェックシートの活用 ・ヒヤリハット事例の共有 ・安全点検の徹底と迅速な対応 ・危機管理体制の見直し・改善 ・各種対応訓練等の実施 ・児童生徒支援状況等の情報共有	①②③④ ⑪⑱⑲		
教職員の 育成及び 指導・監督	校内研究の活性化による教員の授業力向上	・校内研究の内容及び方法等の明確化 ・校内研修の充実 ・校外研修内容の共有 ・授業公開と研究協議の充実 ・授業評価における指導助言	⑤⑥⑦⑧ ⑩⑰⑱		
対外活動	学校運営協議会を活用した地域と連携した教育活動のさらなる充実と理解促進	・学校運営協議会委員との連携・協働 ・地域資源及び人材の活用 ・ホームページや新聞等を活用した情報発信	⑨⑩⑫⑬ ⑭⑮⑯		
コンプライ アンス確保	教職員のコンプライアンス意識の醸成	・服務規律等の情報提供 ・コンプライアンス研修の内容の充実 ・コンプライアンスに係るセルフチェックシートの活用	⑪⑱⑲		
働き方 改革	勤務時間を意識した働き方の推進	・勤怠管理システムによる時間外勤務状況の把握、 ・完全退勤時間の徹底 ・行事の内容等の見直し ・I C T活用等における情報共有と会議時間の短縮	⑱⑲⑳		
I C T活用	児童生徒のタブレット端末の積極的な活用による学びの質の向上	・校内研究との連動 ・I C T活用事例の蓄積と共有 ・学習評価と授業評価を活用した効果検証	⑤⑥⑦ ⑧⑰		

※評価基準： A：十分達成できている B：達成できている C：概ね達成できている D：不十分である E：できていない